

クリーンごみステーションキャンペーン報告書

札幌市と不動産関係団体、アパート・マンション管理会社等をメンバーとする「札幌市共同住宅ごみ排出マナー改善対策連絡協議会」では、共同住宅の管理会社が、居住者と協力してごみ排出マナーの向上を目指す「クリーンごみステーションキャンペーン」を実施しました。

この報告書では、キャンペーンに参加した不動産管理会社から提出していただいたレポート等をもとに、各物件で課題となっていたごみ排出マナーの事例やその対策、キャンペーンでの取組の内容などについてご紹介します。

キャンペーンの概要

1 実施期間

平成22年11月から12月

2 参加物件

【賛助会員】(有)アスタ：4物件、トータルマンションサポート(有)：1物件

【会 員】(株)常口アトム：1物件

3 キャンペーン期間(4週間)の取組

(1) 参加者による取組例

- ・参加物件の居住者に対して、キャンペーン開始時にごみの分別方法や排出日時を説明するチラシや資料を配布
- ・共用スペースへのポスターの掲示
- ・ごみの排出方法を説明するチラシを週末に投函
- ・ごみステーション付近でのあいさつ活動

(あいさつ活動協力：北海道大学文学研究科行動システム科学講座環境社会心理学研究室)

(2) 清掃事務所による重点パトロール

- ・違反ごみ袋の開封調査で排出者が判明した場合について、個別指導を実施

主催：札幌市共同住宅ごみ排出マナー改善対策連絡協議会

(社)高層住宅管理業協会北海道支部、札幌市アパート業協同組合、(社)全国賃貸住宅経営協会北海道支部、(社)全日本不動産協会北海道本部、(社)北海道宅地建物取引業協会、(社)北海道マンション管理組合連合会、(株)アバマンショップリーシング、(株)常口アトム、(株)ビッグサービス、札幌市

各物件の取組結果

参加者：有限会社アスタ

物件名：グランドジョラス菊水（白石区菊水5条1丁目）

期 間：平成22年11月8日から平成22年12月3日

【ごみの排出状況など】

曜日間違いや、指定外袋の利用、他のごみ種の混在もありましたが、まったく分別していないごみも多くありました。

燃やせないごみのほか、容器包装プラスチックやびん・缶・ペットボトルでの違反も同じようにありました。

キャンペーンの最終週にかけて次第に違反ごみは減っていきましたが、キャンペーン終了から約1か月を経過した時点では元の状態に戻りつつあります。

この物件は、ステーションの位置が地下鉄駅に向かう通路沿いにあることもあり、入居者以外の通行人から出されるごみも多いように見受けられます。



【キャンペーン中の様子】



【開始時のごみステーション】



【終了時のごみステーション】

参加者：有限会社アスタ

物件名：グランドジョラス美園（豊平区美園8条3丁目）

期 間：平成22年11月8日から平成22年12月3日

【ごみの排出状況など】

ステーション内はさほど散らかっていませんが、曜日間違いが圧倒的に多くありました。

清掃事務所が違反ごみ袋の開封調査を行い、排出者が判明したケースについて個別指導を実施したところ、一部改善したものもありましたが、違反排出が続くケースもありました。また、違反ごみ袋の中には、毎回同じ内容のごみが入っているものもありました。

やはり燃やせるごみでの違反が多く、全体の半数以上となっています。そのほか、前日の夜や、回収時間を過ぎてから捨てたと思われるケースが目立ちました。



【キャンペーン中の様子】



【開始時のごみステーション】



【終了時のごみステーション】

参加者：有限会社アスタ

物件名：グランディール澄川（南区澄川6条3丁目）

期 間：平成22年11月8日から平成22年12月3日

【ごみの排出状況など】

曜日間違いのごみが多く見受けられるため、ごみ収集日カレンダーの配布に重点を置きました。特に月曜日の違反ごみが多く、金曜の夜から日曜日に出すケースが多いのではないかと推測されます。

有料ごみで指定袋を使用していないケースや、無分別のごみ袋が多く、さらに、小袋の排出が目立つことから、マンション居住者ではなく通行人からの排出の可能性が高いと予測し、ごみステーションの形状変更を検討しています。

清掃事務所が、違反ごみ袋の開封調査を行い、排出者が判明したケースでは、面会による個別指導を実施しました。



【キャンペーン中の様子】



【開始時のごみステーション】



【終了時のごみステーション】

参加者：有限会社アスタ

物件名：プリマベラ二十四軒（西区二十四軒2条6丁目）

期 間：平成22年11月8日から平成22年12月3日

【ごみの排出状況など】

生ゴミの中に電池などが混入しているケースもあり、曜日ごとの分別方法が理解されていないものと思われました。特に「燃やせるごみ」での違反が多く、全体の半数以上となっています。

朝7時半から8時半にチラシの配布を行った際に、ごみを捨てに来た入居者が1名ないし2名であったことから、その他の日でも、前日または回収時間を過ぎてから捨てるといったケースが多いと推測されます。

清掃事務所が、違反ごみ袋の開封調査を行い、排出者が判明したケースでは個別指導を実施しました。ただ、キャンペーン後半の違反排出については、排出者が判明せず、個別指導はできませんでした。



【キャンペーン中の様子】



【開始時のごみステーション】



【終了時のごみステーション】

参加者：株式会社常口アトム

物件名：フラワーN22（札幌市北区北22条西3丁目）

期 間：平成22年11月1日から平成22年11月26日

【ごみの排出状況など】

キャンペーンの開始時に、今回の取組みが札幌市（清掃事務所）と管理会社が連携して行うものである旨を、共用部のポスターで告知しました。

キャンペーンの実施前後において一応のマナー向上は図れましたが、劇的な向上とまではいっていません。しかし、ごみ出しマナーの課題には、収集日や分別方法の間違いや排出時間の問題など様々なものがあります。そのため、入居者のごみ出し状況を把握し、その上でそれぞれの違いに合わせた指導が必要であると感じました。

またマナー向上の取組みを広げていくには、マナー指導のガイドライン作成が必要ではないかと考えています。



【ポスターの掲示】



【専用ごみステーション】



【ごみステーション内の様子】

参加者：トータルマンションサポート有限会社

物件名：エスパシオ本郷（札幌市白石区本郷通2丁目）

期 間：平成22年11月15日から平成22年12月10日

【ごみの排出状況など】

当初は、近隣住民と共用のごみステーションを使用していましたが、居住者のごみ出しマナーに問題があり、平成22年に専用ごみステーションを設置しました。最初は、専用のごみカゴがあるためか、排出区分や曜日に関係なくごみを出し、×シールを貼られたごみ袋が残っていることもありましたが、キャンペーンで、居住者に排出方法についての資料を配布し、清掃事務所が重点パトロールを実施したことなどにより、改めて正しい排出方法を理解していただけました。

キャンペーン中は、通常のごみのほか、入居時の引っ越しで発生するダンボールや、転居時に収集曜日が合わないごみ種などの不適正な排出もありましたが、かなりの成果が達成されたと思います。



【専用ごみステーション】



【ごみステーション内の様子】



【ごみステーション内の様子】